

4-2. 新たな産業の創出

(1) 現況と課題

本町の工業は、事業所の業種としては、電機・機械、化学・ゴム、鉄鋼・金属などの製造業が中心です。昭和 59 年度に宇都宮テクノポリスの指定を受け、大手企業や関連企業の工場、研究所が進出し、ビール工場、自動車産業などが操業を行っています。また「情報の森とちぎ」には、ソフト型産業の立地が進み、情報・通信関係の事業の拠点として発展を続けています。

「情報の森とちぎ」は、平成 12 年 6 月に拡張されましたが、68,805 m² (11 区画) が未分譲となっています。さらに、事業所数、従業者数、製造品出荷額等は平成 11 年度をピークに減少傾向です。企業の集積は、町民に雇用機会を提供するとともに、本町の税収に貢献するものであり、地域運営に不可欠なものです。企業誘致を強化するとともに、地域経済の発展に向けて、町内の中小企業の支援、異業種交流機会の提供などを行う必要があります。

(2) 5 年間の政策目標

- ①町民生活の充実に資する企業を誘致します。
- ②産業交流ネットワークを構築し、新たな産業を展開します。
- ③「情報の森とちぎ」の企業進出を促し、雇用機会を拡大します。

(3) 施策

4-2-1. 産業ネットワークの構築

商店や経済関係代表者、商工会員等で組織する経済活性化協議会を立ち上げ、町内の雇用状況等を含む情報の共有化や町内に立地する企業の交流活動を活性化させて、企業間のネットワークを強化し、新たなビジネス機会の創出を促します。

| 指標 | 平成 16 年度 | 平成 19 年度 |
|--------------|----------|----------|
| ①経済活性化協議会の創設 | 未設立 | 設立 |
| ②雇用対策会議の創設 | 未設立 | 設立 |

【事業】

○産業ネットワークの構築

┆ 経済活性化推進費

┆ 雇用対策推進費

【関連施策】

2-4-6 仕事と子育ての両立の支援

4-1-4 農村地域の再生と活力ある農村の創造

4-2-2. 町内企業の育成と支援

町融資制度やセーフティーネット保証を P R し経営の安定化を促します。また、商工会が実施する経営指導や企業診断を活用しながら、町内企業の経営改善を促すとともに、最新の生産技術の習得や人材育成などの支援を行います。

4-2-3. 情報の森とちぎへの企業誘致

「情報の森とちぎ」への企業立地を促進するため、周辺地域の都市基盤を整備します。さらに、企業の進出を促す優遇措置について検討を行います。

(4) 効率化目標

- ①現在組織されている高根沢まちづくり委員会や中心市街地活性化部会を活用し、経済活性化協議会設立の基礎とします。
- ②町制度融資等をもっと分かりやすく、かつ利用しやすいようにPRします。

(5) サービス向上目標

- ・多様化する産業変化のなかで生き残るために、異業種等の多様な交流ネットワークにより、情報を共有する新たな産業を創出する仕組みづくりを行います。
- ・中小企業の経営基盤の強化と特色ある地場産業の育成を図るための支援策を検討します。併せて町中小企業融資振興資金融資制度を充実させます。
- ・住宅地や快適な生活環境を整備し地域の魅力度を高め、進出企業の従業員の定住化を推進します。
- ・「情報の森とちぎ」の情報発信や立地企業に対する県の優遇措置についてもPRしていきます。